



JOIN

(海外交通・都市開発事業支援機構) 役割と事業支援方針

2019年8月

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構

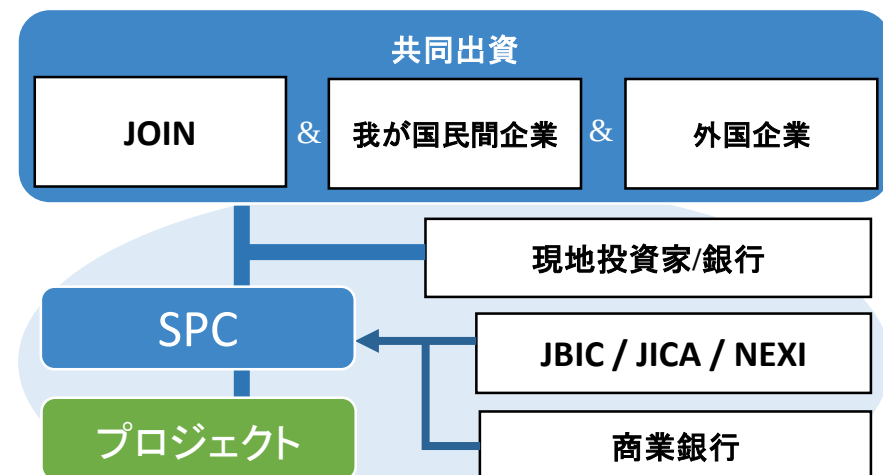
Japan Overseas Infrastructure Investment Corporation for Transport & Urban Development

1. JOINとは？

JOINは2014年10月に設立された、日本で「最初」かつ「唯一の」海外インフラ投資に特化した官民ファンドです。

- 資本参加を通じて安全で信頼できるインフラを構築するための相手国の支援
- 日本企業、金融機関、行政機関（JICA、JBIC、NEXIなど）、関係省庁と連携
- インフラプロジェクトへの資金提供と日本の専門知識、高度専門技術、ソリューションの導入（「ハンズオン」）

出資金	投資能力
・ 620億円（2019年3月現在） ・ 出資比率は日本国政府90%、日系企業10%	・ 日本政府の年間予算として、約1,231億円（2019年度）を配分



2. 支援対象となる事業分野

幅広い事業分野

1. 「交通事業」
2. 「都市開発事業」
3. 「交通事業・都市開発事業を支援する事業」

幅広い地域・国

- 出資対象の地域の要件はなく、新興国だけでなく、先進国への事業展開も支援する方針

グリーンフィールド・ブラウンフィールド

- グリーンフィールド(新規)案件だけでなく、**ブラウンフィールド(既存)案件に対しても支援**する方針

高速鉄道



都市交通



高速道路



海運／船舶



港湾



空港／航空



都市開発



物流

3. 支援対象となる物流事業例



倉庫事業



コールドチェーン事業



貨物鉄道事業



トラック輸送事業



航空貨物事業



港湾事業

5. 支援の方針 — 考え方と原則 —

- JOINは、国土交通省「支援基準」及びJOIN「投資運用指針」に基づき以下の方針で支援を行う。

政策的意義

- ・ 我が国の知識・技術・経験の活用、海外市場への我が国事業者の参入の促進
- ・ 外交政策、対外経済政策との調和
- ・ 環境社会配慮の実施

民間企業のイニシアチブ

- ・ 我が国民間企業からの出資等
- ・ 適切な範囲での事業参画、必要に応じ役員又は技術者の派遣
- ・ 我が国民間企業出資を超えない

長期における収益性の確保

- ・ 適切な経営体制の確保
- ・ 客観的な需要予測等による長期的収益の見通し
- ・ 事業終了時における資金回収の見通し
- ・ あらかじめ関係者間でEXITについて協議

他の公的機関との連携

- ・ JBIC、JICA、NEXI等との十分な連携、政府一体となった支援体制を構築

出資等の内容

- ・ JOINによる出資は、我が国民間企業との間で最大出資とならない
- ・ 原則として普通出資、優先出資及び劣後ローン
- ・ 既往案件への出資等についても検討

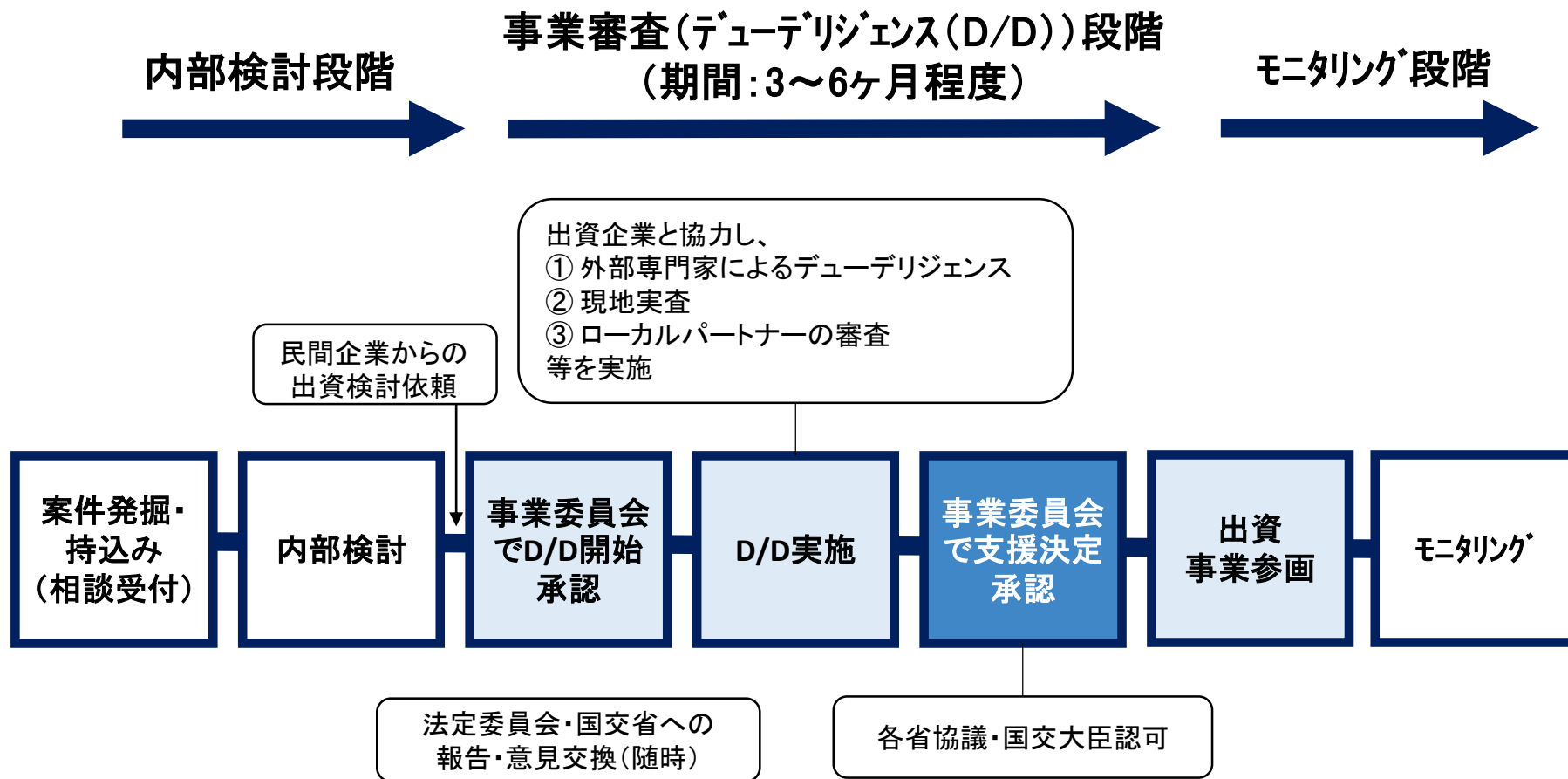
事業サポート

- ・ 必要に応じ、完工保証、コストオーバーランの対応等、スポンサーサポートを提供
- ・ EPC契約・コストや建設スケジュールの確認と必要に応じた対応
- ・ 基本的に民間企業等と同一のタイミングで出資
- ・ 政府と連携し、事業の枠組み作りに参画

モニタリング

- ・ ポートフォリオ全体の健全性の確保
- ・ 投資事業の管理とモニタリング（マクロ環境、建設状況、財務状況、収益性、政策意義等）

6. 支援実行までのプロセス



- 事業の進捗にあわせ支援基準及び投資運用指針に基づいて審査
- 現地実査、相手国政府・ローカルパートナーとの協議重視
- 検討のプロセスでJBIC/JICA等との調整を行い、政府のアドバイス等を案件に反映

7. JOIN支援事業(一覧)

As of 2019/5

No.	事業名	No.	事業名
1	ベトナム 港湾ターミナル整備・運営事業	18	マレーシア コールドチェーン物流運営事業
2	米国 テキサス高速鉄道開発事業	19	パラオ共和国 パラオ国際空港運営事業
3	ブラジル 都市鉄道運営事業		
4	ミャンマー ヤンゴンランドマーク事業		
5	インドネシア BSD総合都市開発事業		
6	インドネシア 冷凍冷蔵倉庫整備・運営事業		
7	インドネシア ジャカルタガーデンシティ中心地区都市開発事業		
8	インドネシア ジャカルタサウスイースト都市開発事業		
9	ミャンマー ヤンゴン博物館跡地再開発事業		
10	インドネシア ジャカルタメガクニンガン都市開発事業		
11	インド ジャイプル等既設有料道路運営事業		
12	ベトナム ホーチミン近郊ウォーターポイント都市開発事業		
13	米国 代替ジェット燃料供給運搬事業		
14	ロシア ハバロフスク国際空港整備・運営事業		
15	タイ アマタナコン複合開発事業		
16	ミャンマー ティラワ港ターミナル運営事業		
17	ミャンマー ティラワ港穀物ターミナル事業		

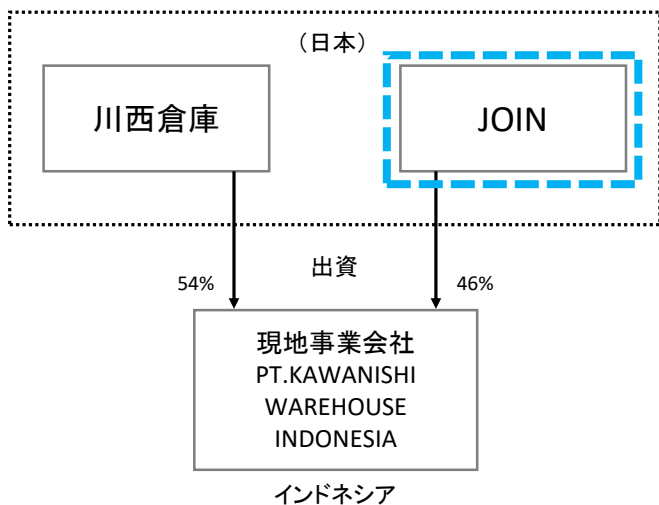
分野別		国別（上位4カ国）				大臣認可年度別					
交通	11件	インドネシア	5件	ミャンマー	4件	2015年度	3件	2017年度	5件	2019年度	-件
都市開発	8件	ベトナム	2件	米国	2件	2016年度	3件	2018年度	8件		

8. JOIN支援事業例 ①: インドネシア 冷凍冷蔵倉庫整備・運営事業

事業概要

- インドネシア・ジャカルタ郊外のMM2100工業団地において、川西倉庫株式会社とともに、冷凍冷蔵倉庫の整備・運営を行う。ジャカルタ都市圏で高まる多様な食品需要をターゲットに、温度管理や衛生管理の整った冷凍冷蔵倉庫を整備・運営する。
- JOIN出資額: 約9億円(2017年1月支援決定(大臣認可取得))

事業スキーム



プロジェクトサイト図



- 設備/規模
 - 冷凍庫(-20℃、1庫)
 - 冷蔵庫(0～5℃、2庫)
 - 定温庫(15～20℃、3庫)
 - トラック用搬出入戸口数(15)
- 倉庫延床面積: 約5,600㎡
- 総投資額: 約20億円
- 完工: 2017年10月

政策的意義

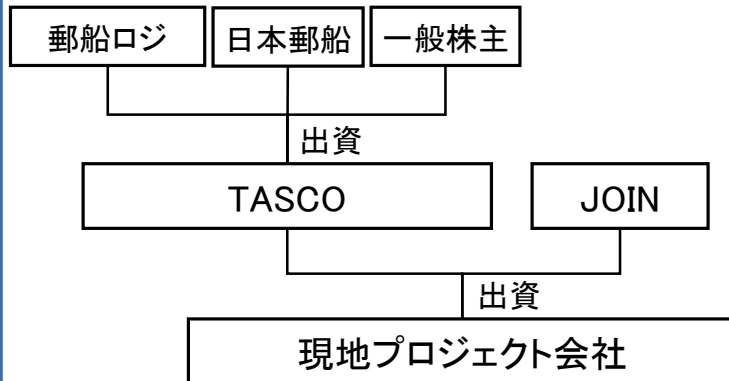
- 神戸を拠点とする本邦物流事業者がインドネシアの冷凍冷蔵倉庫業へ初参画することを後押し
- 日本的な品質管理を導入することで、ジャカルタ都市圏の冷凍冷蔵食品市場の拡大に貢献

9. JOIN支援事業例 ②: マレーシア コールドチェーン物流運営事業

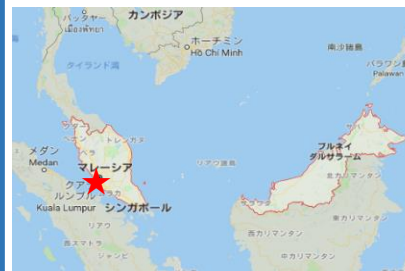
事業概要

- マレーシアにおいて、郵船ロジスティクス及び同社の子会社であるTASCOと共に、コールドチェーン物流の運営を行う事業。
- JOIN出資額: 約36億円 (2019年3月支援決定(大臣認可取得))

事業スキーム



プロジェクトサイト図



(出典: Yahoo地図よりJOIN加工)

- 設備: 倉庫8棟
- 倉庫延床面積: 約80,000㎡
- 従業員数: 約800名



施設外観



(出典: TASCO提供)

政策的意義

- 本邦企業のマレーシアにおけるコールドチェーン物流事業及びハラル食品物流事業への展開を後押し。
- 本邦企業の有する知見・グローバルネットワークの活用によるASEAN地域へのコールドチェーン物流事業の展開促進を支援。

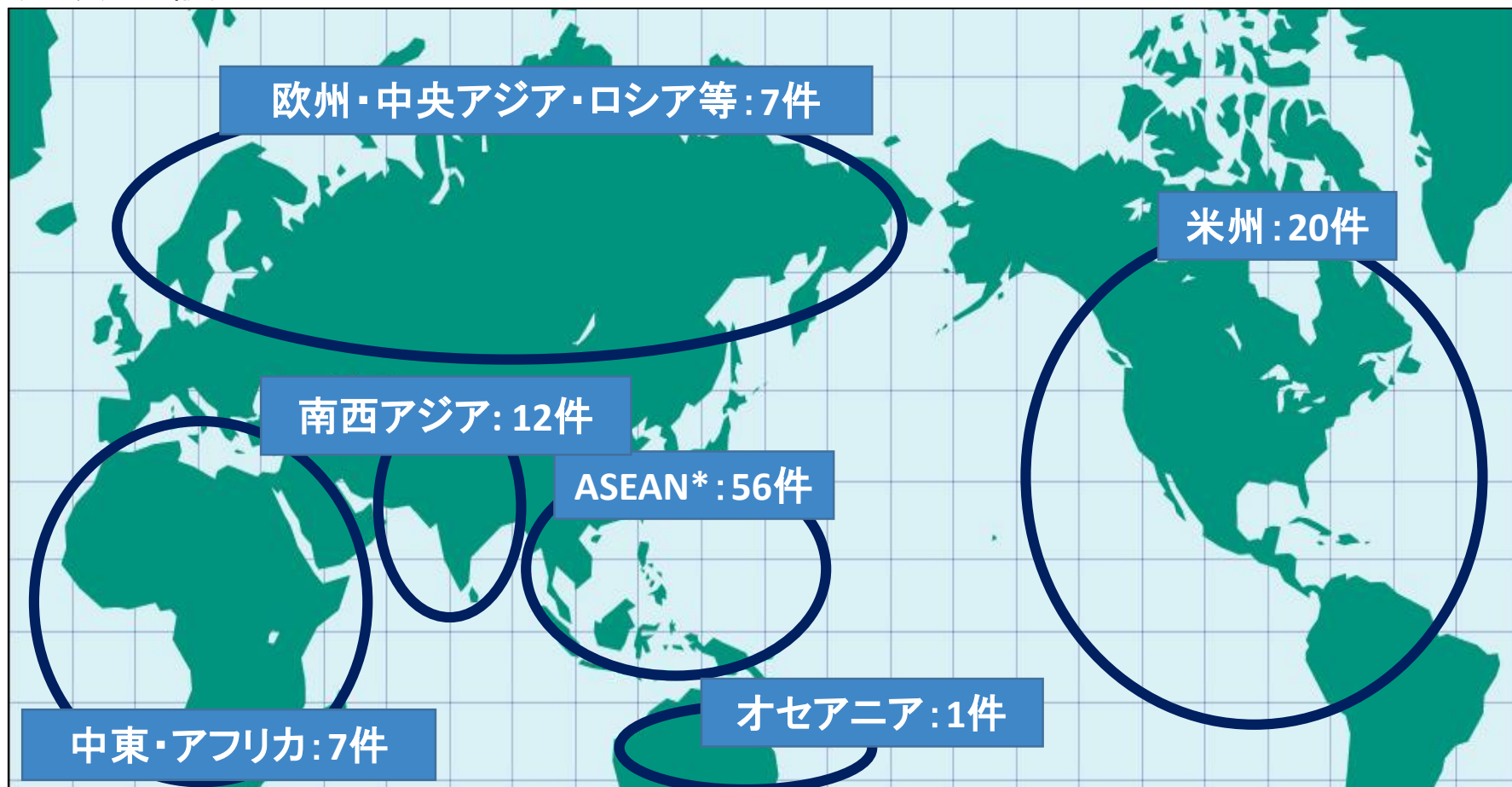
10. 出資相談件数

- 出資相談件数(平成31年3月末時点) : 103件

(分野別内訳)

鉄道15件、都市開発28件、道路/橋梁10件、空港/航空9件、港湾10件、船舶/海運11件、**物流12件**、都市交通5件、下水道3件

(地域別内訳)



11. 株主・役員一覧

出資金

※平成31年 3月末

620億4500万円(政府:561億円 民間:59億4500万円)

民間出資者の内訳

港湾空港総合技術センター
海外エコシティブプロジェクト協議会
海外建設協会
海外鉄道技術協力協会
国際建設技術協会
全国空港ビル事業者協会
日本埋立浚渫協会
日本橋梁建設協会
日本港運協会

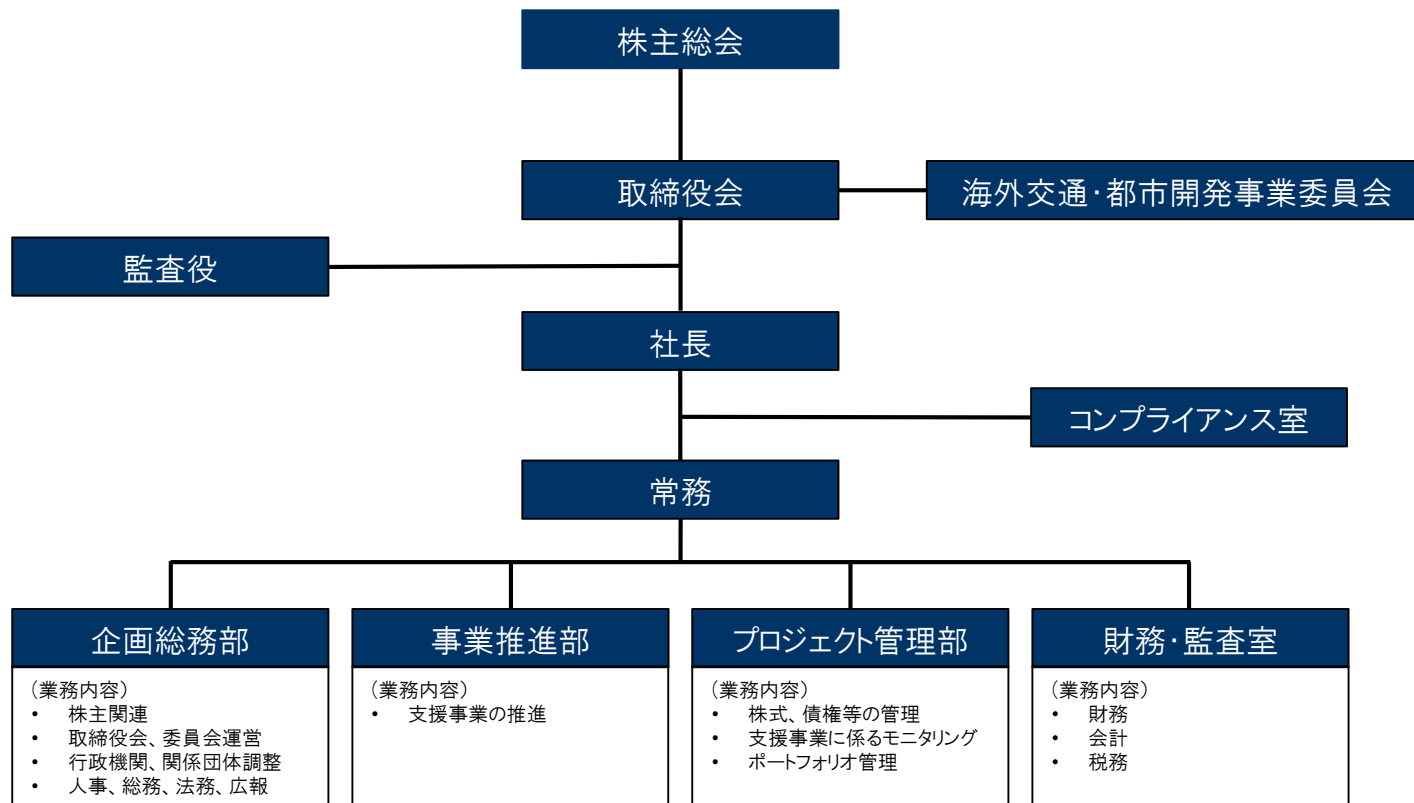
日本船主協会
日本造船工業会
日本道路建設業協会
日本物流団体連合会
日本民営鉄道協会
プレストレスト・コンクリート建設業協会
日本高速道路インターナショナル
三井住友信託銀行(信託口)

役員

代表取締役社長	波多野 琢磨
常務取締役	稲川 文雄
社外取締役	白田 佳子
社外取締役	竹内 敬介
社外取締役	蜂須賀 一世
社外取締役	榎谷 亨
社外取締役	溝口 潤
監査役	八尾 紀子

12. 会社案内

組織図



沿革

平成26年	7月17日	株式会社海外交通・都市開発事業支援機構法 株式会社海外交通・都市開発事業支援機構法施行規則施行
	10月14日	株式会社海外交通・都市開発事業支援機構支援基準告示
	10月20日	設立

13. 会社案内

本店
所在地

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号 丸の内仲通りビル 2階



連絡先

TEL: 03-5293-6700(代表) / FAX: 03-3218-5561
E-mail: kurosawa-k@join-future.co.jp (事業推進部 黒沢)
kurobe-m@join-future.co.jp (事業推進部 黒部)

ウェブサイト

<http://www.join-future.co.jp/>

ご静聴有り難うございました。